平成２５年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

熊本大学

平成２７年１月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 「実験動物と動物実験に関連する規則集 2013」内の「熊本大学動物実験等に関する規則」（第 1 章）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

２．動物実験委員会

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
２）自己点検の対象とした資料 「実験動物と動物実験に関連する規則集 2013」内の「熊本大学動物実験等に関する規則（第 3 章）」
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

３．動物実験の実施体制
（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 「実験動物と動物実験に関連する規則集 2013」の内「熊本大学動物実験等に関する規則（第 4 章）」、「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」「動物実験報告書」
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

４．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

１）評価結果 ☑　該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐　該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐　該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐　該当する動物実験は、行われていない。
２）自己点検の対象とした資料 (1) 病原体の感染動物実験・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設の新館の使用心得」、「ヒトアデノウイルスベクターを用いた動物接種実験のガイドライン」、「熊本大学エイズ学研究センター２階安全度３感染動物実験室利用マニュアル」 (2) 有害化学物質の投与動物実験・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設有害物質投与動物実験実施要項」「環境安全と防災の手引き」 (3)放射性物質の投与動物実験・・・「生命資源研究・支援センター　アイソトープ総合施設における動物実験に係る手順」 (4) 遺伝子組換え動物を用いる実験・・・「熊本大学遺伝子組換え生物等第二種使用等安全管理規則」、「遺伝子改変マウス胚／精子の凍結保存及び供給に関する利用案内」、「環境安全と防災の手引き」、「実験動物飼育・管理マニュアル」、「熊本大学エイズ学研究センター２階安全度３感染動物実験室利用マニュアル」
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

５．実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

１）評価結果 ☑　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 (1)「動物実験施設設置承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」 (2) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (4) 熊本大学における「動物実験施設の定期調査に関する申合せ」

３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特に無し

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2)「熊本大学動物実験計画書」の調査・審議内容の記録 (3) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (4) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (5) 教育訓練の実施日、教育内容、受講者数の記録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
４）改善の方針

２．動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 (1)「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験中止・完了報告書」

(2)「熊本大学動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4）改善の方針

3．安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

1）評価結果 ☑ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2）自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする） (1)「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」 (2) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4）改善の方針

4．実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1）評価結果 ☑ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検報告書・・・各動物実験施設の自己点検事項 (2) 飼養保管手順書・・・「動物資源開発研究施設・本館及び新館における標準操作手順書」、「生命資源研究・支援センター　アイソトープ総合施設における動物実験に係る手順」、「黒髪南地区哺乳動物飼育棟使用心得」、「大江地区磁気共鳴イメージング室飼育手順書」「平成25 年度版実験動物飼育法の共通ルール」」「孵卵の飼育保管に関する標準操作手順書」「育雛動物の飼育保管に関する標準操作手順書」「動物飼育手順書」その他の動物実験施設にお

ける飼養保管手順書
(3) 各種マニュアル・・・「動物資源開発研究施設・微生物モニタリングマニュアル」、「動物資源開発研究施設・マウス生殖工学技術マニュアル CD」、「動物資源開発研究施設・空調設備その他の運転及び設備管理業務の業務内容」、「動物資源開発研究施設・実験動物飼育ケージ洗浄及び清掃業務内容」、「動物資源開発研究施設・事務管理業務」、「熊本大学エイズ学研究センター2 階安全度 3 感染動物実験室利用マニュアル」、「マウス飼育マニュアル（分子遺伝学分野 H25 年度）」、「マウス室の注意点」その他の動物実験施設における各種マニュアル
(4) 関連書類・・・「導入時検疫関連書類」、「入手先関連書類」、「飼育履歴関連書類」、「病歴関連書類」、「輸送関連書類」、「空調関連書類」、「連絡網関連書類」、「飼育記録」、「輸送報告書」、「緊急連絡網」「動物搬出入関連書類」「SPF 動物用エアコン飼育フード取扱説明書」「MRI 測定ログノート」

３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

４）改善の方針

５．施設等の維持管理の状況
（機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

１）評価結果
☑ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。

２）自己点検の対象とした資料
(1) 熊本大学における「動物実験施設設置(新規・変更)承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
(2) 熊本大学における「実験室設置(新規・変更)承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準

３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

４）改善の方針

６．教育訓練の実施状況
（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

１）評価結果
☑ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。

２）自己点検の対象とした資料
(1) 教育訓練の実施日、受講者氏名の記録

(2) 教育訓練に用いた「動物実験の手順等に関するテキスト」、「実験動物と動物実験に関連する規則集 2013」、「熊本大学動物資源開発研究施設のパンフレット」
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4）改善の方針

7．自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検・評価・・・今回の自己点検・評価結果は情報公開予定 (2) 関連事項の情報公開・・・「熊本大学における実験動物と動物実験に関する規則」、「熊本大学におけるその他の主要な実験動物と動物実験に関する規則」、「各種様式」、は、大学ホームページにおいて、情報公開済み。「平成 25 年度実績」は、情報公開予定。
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4）改善の方針

8．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特に無し